

講義名	児童福祉論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	加藤 曜子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	43082

主題と概要

子どもは子どもらしく生きる権利を有する。しかし現状は生きる力や自立の力を養うべき家庭や所属集団の場で、虐待いじめ、不登校など深刻な問題が生じている。このような子どもの健全育成、要保護児童や児童の発達上、発生する問題を具体的にとりあげ、法律、政策、子どもと家庭の福祉の理念を通じ、どのような解決が試みようとされているのかを理解する。諸関係法律、諸関係機関、施設との連携、相談援助のありかたも学ぶ

到達目標

児童福祉入門からの児童福祉のアドバンスとして理解をする。子どもの具体的な活動をさらに理解し社会的養護や、地域での支援を理解する。また社会問題としての子ども虐待問題や、非行問題、保健福祉関係についても実践課題を通し理解する。予防的な分野、治療ケア的な分野、地域からの活動分野にもわけて、理解を深める

提出課題

テーマを選び、実際に自分たちに関心のある活動についてレポートをする。例えば児童館活動を理解する。離婚再婚問題を考える。虐待問題を子どもの立場から考えるなど。

評価の基準

出席、レポート提出、授業態度、試験から総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

社会福祉士の国家試験受験資格科目であり、講義にはかならず出席をする

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料あり
参考文献
児童虐待ソーシャルワーク論 オ村純 2005 有斐閣
児童虐待は今 津崎哲郎編 2010 ミネルヴァ書房
子どもの虐待の理解・対応・ケア 2011 福村出版
ネグレクトされた子どもへの支援 2016 明石書房

授業計画

1. 児童福祉関連分野の組織と機関の理解
2. 母子保健の対策
3. 心身障がい児の施策
4. 児童健全育成の施策
5. 保育の施策
6. 保護を要する児童の施策
7. 児童虐待問題
8. 児童虐待問題 ケア
9. 配偶者間暴力と子ども
10. ひとり親家庭の課題
11. 子ども支援と社会的養護の課題
12. 子どもの相談援助活動
13. 子どもの相談援助活動 基本的留意点
14. 子どもの相談援助活動 施設ケアと自立支援
15. まとめ

予習・復習

1. 予習
児童家庭福祉は、心理学や社会学などの基本をベースにした応用的な実践学として支援理論を 展開している部分もあります。また地域福祉論や政策論なども関係してきます。そのため、制度論や歴史などを日ごろから親しみ、かつ疑問をもっておいてください。
2. 復習

備考